



四日市市立大矢知興譲小学校
校長だより 1号 R8.4.7

興譲(こうじょう)とは

大矢知興譲小学校の場所には、江戸時代に「忍藩(おしはん)」の陣屋がおかれ、陣屋内には学問所「興譲館」がありました。武士が学んだ学問所の名前が、この学校に引き継がれています。

古代中国で作られた「大学」という本に、

一家仁なれば、一国仁に興る。

一家譲なれば、一国譲に興る。

という一節があります。「仁(じん)」は人を思いやる心、「譲(じょう)」は自分をおさえて人にゆずる心を意味します。上の一節は「一人ひとりが思いやる心を持てば、みんながお互いに思いやることができる。一人ひとりがゆずる心をもてば、みんながゆずり合うことができる。」という儒教の教えです。

学校の名前には、このような願いが込められています。

参考:「忍藩大矢知陣屋(想像図)解説」大矢知地区まちづくり構想推進委員会他

校長だより「興譲」担当、須川です。「興譲」は保護者のみなさまに Home & School で発信するとともに、地域のみなさまに向けて学校ホームページ「学校の様子」(右の QR コードからリンク)にもアップします。AI を使い、やさしい日本語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語でも発信します。よろしくお願いします。



「モジュール国語」はじめます

「モジュール国語」とは、毎朝8:25~8:35の10分間に、国語の授業を行うものです。モジュール学習は短い時間で集中して取り組む学習方法のこと。これを授業としてカウントし、水曜日の5限目の授業をなくします。

8:25から授業です。遅れると遅刻になりますので、気をつけてください。

下校時刻は Home & School でお知らせ

毎月の下校時刻は、前の月の25日頃に Home & School でお知らせします。これまでは紙で発行する学年通信でもお知らせしていましたが、5月からは Home & School でのお知らせだけとします。ご理解をお願いします。